



PTA 二中大より

— 会報 第166号 —





変化と成長をしながら

PTA会長 和田 智博

日頃より、皆様には山形二中PTA活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年の夏は例年になく暑い日が続き、また自然災害が発生したというニュースをよく目にしました。そんな中でも二中生は、自分らしく、それぞれの活動に前向きに取り組んでいたように感じます。さらに今年はオリンピックが開催され、数々の

感動のドラマがうまれました。子供たちの間でも、オリンピックの話題で盛り上がっている場面をよく目にし、そこには「あこがれ」や「夢」を抱く姿があり、私はそこに希望のようなものを感じました。今、社会は決して良い環境とは言えません。海外での争い、値上げの話題や毎日の報道される暗いニュース。そのような中でも私たち保護者は子育

てに向き合い、未来へ繋いでいかなければなりません。でもあの希望あふれる子供たちの姿を見てみると「きつと大丈夫」と思わせてくれます。私たちは子育てをしながら、子供たちから多くの事を与えてもらっているのです。これからも学校と手を取り合い子供たちと一緒に、変化、成長をしながらPTA活動を続けてまいります。



脈々と受け継がれる「奉仕の心」

校長 小関 広明

昨年と一昨年に引き続き、今年度も本校の生徒が山形市青少年育成会議より善行賞をいただきました（生徒会は二年連続）。今年は、五月上旬に玄関先で動けなくなっていたご高齢の方を助けてくれた一年生男子二名が表彰を受けました。このこと以外にも、五月下旬、登校途中に、道路で転倒したお婆さんを助けてくれた二年生の男子二名、同

じように登校途中に、交差点で転倒したご高齢の方を助けてくれた三年生の男子二名の行いに対しても地域の方から感謝の連絡をいただいております。困っている人を見かけ、手助けしなければと思っても、いざ行動に移すには勇気のいることだと思います。そんなことが自然にできるのは、生徒会が奉仕の心を活動の柱に掲げ日々の活動を行っている

成果でもあります。少子高齢化が急速に進む今の時代、生徒の皆さんのこうした行動は地域を支える大きな力になっていくものと思います。平成十一年に設定した生徒会憲章の中にある「奉仕の心」はこれからも大切に受け継いでいくことができればと思います。今後とも、地域の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

3年1組 ルスツリゾート遊園地



3年 北海道修学旅行

スローガン「Beyond yourself ～地域・未来・成長に呼応く旅～」

5月15日(水)
学校→仙台駅→函館自主研修→函館山夜景観賞→宿舎
5月16日(木)
クラス別研修→ルスツリゾート遊園地 (昼食BBQ)
→ルスツリゾートホテルにて講演「第一印象」
5月17日(金)
五稜郭タワー→仙台駅→学校

3年2組 金森赤レンガ倉庫



3年3組 ルスツリゾート遊園地



3年4組 金森赤レンガ倉庫



3年5組 ルスツリゾート遊園地





2年 職業体験学習

- ・地元にある企業の方から体験型の出前授業をしていただいた。
- ・様々な職業について知識を深め、働くことの意義や大切さを学んだ。



2年 スポゴミ マナーアップ



1年 校外学習

「3T 楽しく・チームワーク・たがいを知る」のスローガンのもと、野外炊飯とスコアOLに取り組んだ。班ごと協力し合って楽しく活動し、互いのよさを認め合える、意義のある校外学習となった。



PTA文化部

部長 遠藤 愛子
副部長 鈴木 愛
五十嵐友里
山川 優希
山川美紀子
松本 秀紀
伊藤 朋子
山川 淳子

編集後記

今年も暑い日々が続きましたが、最近の朝晩の涼しさに秋の深まりが感じられるようになりました。
学校行事では、修学旅行、市中総体、各学年行事など、充実した様子が子供たちの笑顔を見ると伝わってきます。
今後二神だよりを通して、PTA活動や、子供達の成長していく姿をお伝えしていきます。次号もお楽しみに……。

文化部長 遠藤 愛子